

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	園芸学専攻		
科目名称 [英語名称]	環境保全園芸学特論Ⅱ [Advanced Lectures on Sustainable Horticulture, part 2]			実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	○
科目コード	642311	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	1年次
教員氏名	山口 健一			学位授与の方針 との関連	修士課程DP1,2		
授業概要	21世紀は環境の時代と言われているが、園芸植物の生産においても環境と調和した持続可能な循環型栽培システムを確立することが求められている。本授業では、海外の園芸植物(野菜、果樹、花卉等)の栽培における環境上の問題点を深く理解するとともに、環境に配慮した土作り、施肥、病害虫・雑草防除方法、リサイクルについて高度な知識を習得することを目的とする。【知識・技能の育成】						
関連する科目	履修前：環境保全園芸学特論Ⅰ						
授業の進め方と方法	提示する専門書籍あるいは学術論文について教員が講義するとともに、受講生間で随時討議を行う。						
授業計画	<p>授業は概ね以下の内容で進行する。</p> <p>01. 講義内容とその進め方 授業スケジュールについて説明する。</p> <p>02. 海外の園芸生産と自然環境 海外における園芸生産について学ぶ。</p> <p>03. 海外の野菜園芸における環境上の問題点[1] 海外の野菜露地栽培が環境に及ぼす影響を学ぶ。</p> <p>04. 海外の野菜園芸における環境上の問題点[2] 海外の野菜施設栽培が環境に及ぼす影響を学ぶ。</p> <p>05. 海外の野菜栽培における環境保全技術 海外で活用されている環境保全技術を学ぶ。</p> <p>06. 授粉用外来昆虫の環境リスク(海外状況) 海外における交配用昆虫の利用状況を学ぶ。</p> <p>07. 海外の果樹園芸における環境上の問題点[1] 海外の温帯果樹栽培が環境に及ぼす影響を学ぶ。</p> <p>08. 海外の果樹園芸における環境上の問題点[2] 海外の熱帯果樹栽培が環境に及ぼす影響を学ぶ。</p> <p>09. 海外の果樹栽培における環境保全技術 海外で活用されている環境保全技術を学ぶ。</p> <p>10. 地球温暖化が果樹園芸に及ぼす影響(海外状況) 地球の温暖化現象が海外の果樹生産に及ぼす影響を学ぶ。</p> <p>11. 海外の花卉園芸における環境上の問題点 海外の花き栽培が環境に及ぼす影響を学ぶ。</p> <p>12. 海外の花卉栽培における環境保全技術 海外で活用されている環境保全技術を学ぶ。</p> <p>13. 園芸資材のリサイクルリング(海外状況) 海外の園芸生産から排出される廃棄物とその再生を学ぶ。</p> <p>14. 園芸植物と「外来生物防止法」(海外状況) 外来生物の防止にかかわる海外の状況を学ぶ。</p> <p>15. まとめ 授業全体を振り返って要点を整理する。</p>						
授業の到達目標	海外の野菜、果樹、花卉など植物生産における環境上の問題を深く理解し、自然生態系を踏まえた適切な植物栽培を実践できる高度な知識を世界的な視野で得る。【専門分野の高度な知識の獲得】						
授業時間外の学修	【予習】予め次回の授業項目をアナウンスするので、図書室等を利用して各自で予習を行う。 【復習】授業ノート及び配付資料を参考に、受講生各自で毎回復習する。 なお、不明な箇所については、必ず担当教員に直接質問し、学びを深める。						
課題に対する フィードバック	授業内の討議で出た質問等については、補足及び理由を付して正答を示す。			評価方法	専門的知識の理解度・習熟度で判定する(100点)		
テキスト	授業内容に関する資料や参考となる図書を都度配布・紹介する。						
参考書	授業の進展にそって、関連する参考書や資料等を適宜紹介する。						
備考							